



「当コミュニティ委員会は、新潟市地域活動補助金を受けて事業を実施しています。」

ながauraコミュニティだより



長浦コミセン
公式LINE

9月号 No.283

令和8年9月1日発行

長浦コミュニティ委員会（長浦コミセン） 〒950-3338 新潟市北区長場 1834-1

TEL 025-387-2061 FAX 025-386-7495 ※月曜・祝日は休館日です

☆連絡先の記載がないものは全て長浦コミセンへご連絡ください。

E-mail アドレス nagaura-comi@sea.plala.or.jp



秋の全国交通安全運動 9月21日(月)~30日(水)

長浦コミュニティ委員会では、春と秋の交通安全運動期間を中心に、交通安全と防犯を呼びかけながらパトロールを行っています。

9/1~10月中旬まで、各自治会から協力していただき『青色回転灯パトロール車』通称青パト車にて長浦地区内を走ります。日没が早まる時期です。交通安全と防犯への心がけを一層大切にしましょう。



おいしい日本茶の淹れ方教室

普段何気なく淹れているお茶が変わります！
今までお茶を淹れるのが苦手だったあなたも、この教室でお茶の達人に仲間入りです！人気の教室です。お早めに！



日 時：10月20日(火) 10:00~12:00

会 場：長浦コミュニティセンター会議室

講 師：お茶の紫香園のスタッフさん

参加費：100円（お茶菓子代含む）

定 員：先着12名

申込み：長浦コミュニティセンター

TEL025-387-2061

わくわく3B

子どもの3B体操教室です。「遊びながら育つ」と言われる子どもたちと3B体操の道具を使いながら楽しく身体を動かし、身の健やかな成長をはかります。

日 時：毎月第3土曜日 17:30~18:30

会 場：長浦コミュニティセンター

講 師：倉島 和香子さん

（公社日本3B体操協会公認指導者）

持ち物：運動靴、飲み物、タオル

参加費：500円/月1回

（その他入会金1,000円、保険料600円）

☆いつでも無料で体験できます。参加される場合は講師までご連絡ください。

申込み：講師 倉島 まで

TEL 090-2630-3822



長浦文化祭

今年も11/14(土)、15(日)の二日間、長浦コミュニティセンターにて開催します。作品の展示のほか、ながaura茶会、演奏やダンスなど、様々なイベントを開催します。合わせて、文化祭に出品する作品も募集しています。趣味で作ったこんなもの、誰かに見てもらいたいあんなものなど、書、絵画、工芸、写真などジャンルは問いません。ぜひ長浦文化祭に出品してみませんか？気になった方は長浦コミセン窓口へお声がけください。



すきちゃびコンサート

正やん&こうせつを歌う

今年もやって来ました！
すきちゃび 秋コンで歌おう DAY！

参加費：1,000 円 ☆申込みは不要です
問合せ：すきちゃび

日時：10月3日（土）
13：30～15：00

会場：長浦コミュニティセンター
多目的ホール



思いっきり笑って、歌って、
秋の一日を楽しみましょう！

ご存じですか？長浦地区の公共交通「長浦エリアバス×タク」

令和4年10月に地域の公共交通がデマンドタクシーから長浦エリアバス×タクに変わりました。きっかけは、長浦コミュニティバスの廃止でした。光晴中学校の生徒さんが冬場の登下校に使っていたバスが利用できなくなることから、一般の方も中学生も利用できる公共交通として始まりました。昨年度、中学生を除く一般の方の利用は、月に40人ほどでしたが、今年4月に豊栄病院の送迎バスが廃止されたことで、利用者が増え、4月から6月までの平均利用者数が、月78人と昨年に比べておよそ2倍になりました。そこで、より使いやすい公共交通をめざすため、7月に開催された長浦地区の「区長と語る会」で「エリアバス×タクの運行を週3日から週5日に増便してほしい」と要望しました。区長さんからは、「来年度の

予算に要望したい」との回答を頂きました。
今後も地域の方に知ってもらい、大勢の方に利用される公共交通になって欲しいと願っています。
尚、利用方法などの詳細については、新潟市のホームページ（[🔵 エリアバス×タク](#)）または、長浦コミセン（TEL 028-387-2061）へお問い合わせください。



R4年10月北区役所での出発式の様子

アレコレ長浦 No.27 「オニバス」

長浦コミュニティセンター
センター長 柳澤 明仁

長浦農村公園で、久しぶりに「オニバス」の花が咲きました。オニバスは、直径2mほどにもなる大きな葉を広げる珍しい水生植物で、全国でも生息地が約70か所と少なく、福島潟は日本での自生の北限とされています。大きな葉に対して、花は小さく、鮮やかな色が特徴です。かつての福島潟ではたくさん見られましたが、干拓や環境の変化で数が減り、昭和40年代には姿を消しました。その後、昭和63年に再発見され、地域で保護活動が続けられています。地元では「ドンバス」とも呼ばれ、昔は茎や種子を食べるなど、人々の暮らしにも身近な植物でした。

長浦農村公園に咲いた貴重なオニバスを、ぜひご覧ください。身近な自然の不思議や大切さを感じるきっかけになればと思います。
☆今月は予定を変更しセンター長の寄稿となりました。

【次回は、長場自治会さんへバトンをお渡しします。】



農村公園は夏の花が盛りです！



池の中に小さな花が咲いています。探してみてください。